

れんけい だより

Vol. 87

国家公務員 横須賀共済病院 広報誌
共済組合連合会

地域医療支援病院

救命救急センター

周産期母子医療センター

臨床研修指定病院

地域がん診療連携拠点病院

がんゲノム医療連携病院

神奈川 DMAT 指定病院

神奈川県災害医療拠点病院

DPC 特定病院群

病院機能評価(3rdG:Ver.2.0)



CONTENTS

病院まつり P 2

市民公開講座

高血圧と高脂血症のつきあい方 P 4

知っておきたい脳卒中治療と予防 P 5

診療科部長に聞く P 6

お仕事ニュース

救急救命士 P 8

薬剤科 P 9

当院の DX P 10

医療機関訪問 P 11

病院まつり 開催

10月18日(土)病院まつりを開催しました。お天気も良く大勢の方にお越しいただきたくさんの笑顔と歓声が溢れていました。当日は、横須賀総合高等学校の吹奏楽部、三浦半島に住むご当地ヒーロー!コントラバスヒーロー、横須賀市消防局による救急車・消防車展示、スカリン、逸見エモン、JAZZ ピアニスト友金まゆみさん、ベース関 良平さん、サックス ジェントル山本さん等、大勢の皆様にお力添えいただき盛会のまも終了することができました。ありがとうございました。



キッチンカー



お薬相談



AED 体験



消防車展示



栄養相談



お湯で落とせるネイル体験



医療機器体験



内視鏡体験



白衣体験



脳トレ・嚥下チェック



健康チェック



触診体験



手洗いコーナー

講演



ミニコンサート
横須賀総合高等学校 吹奏楽部

Jazzコンサート 参加者より

JAZZ は普段あまり聞くことがないので新鮮な感じでした。楽しかったです。



Jazzコンサート



コントラバスヒーロー



高血圧と高脂血症の つきあい方

PROGRAM

総司会



副院長 兼 泌尿器科部長
小林 一樹

講演



循環器内科 副部長 村井 典史

講演



腎臓内科 副部長 安藝 昇太



参加者アンケート (原文のまま記載)

市民公開講座 大変参考になりました。

血圧の薬と高脂血症の薬を飲んでいるので
たいへん勉強になりました。

とても聞きやすくわかりやすい説明でした。
また、是非参加したいと思います。

身近な病気でよくわかりました。ありがとうございました。

何気なく生活をしていましたが今日の説明で大事な
ことがわかり、日々気を付けて過ごそうと思います。
来て良かったです。

横浜南共済病院 × 横須賀共済病院

脳外科最前線 知っておきたい脳卒中治療と予防

PROGRAM

総司会



横須賀共済病院
診療部長 兼 脳神経センター長
田中 良英

講演



脳卒中になった時
横須賀共済病院
脳神経外科 部長 綾部 純一

講演



脳卒中の予防
横浜南共済病院
脳神経外科 部長 間中 浩



参加者アンケート (原文のまま記載)

とても分かりやすく参考になりました。帰ったらすぐ
に両親(80代)に話をし、予防につとめてもら
うよう、提案しやすくなりました。ありがとうございました。

地域全体にとって大変素晴らしい企画で来られて良
かったです。共済病院同士が協力態勢を組めるの
は今後大事ですね。

身近に高度な手術に対応して頂ける病院があり、安
心しています。予防につとめたいと思います。

とてもわかりやすい内容で学ぶことができました。
医療学生として、今回の話が聞けてよかったです。

扩大版 泌尿器科

信頼される泌尿器科チームを目指して



副院長 兼 泌尿器科 部長
小林 一樹

Profile

專門領域
泌尿器科惡性腫瘤

経歴

平成 4 年 山形大学医学部卒業

平成 18 年 横須賀共済病院 泌尿器科 医長

平成 25 年 横須賀共済病院 泌尿器科 部長

令和 元 年 横須賀共済病院 診療部長

令和 7 年 横須賀共済病院 副院長

資格

医学博士（2001年 横浜市立大学）

横浜市立大学医学部臨床教授

日本泌尿器学会専門医

日本泌尿器科学会指導医

がん治療認定医

泌尿器腹腔鏡技術認定医

日本内視鏡外科学会泌尿器科部門腹腔鏡技術認定医

泌尿器ロボット支援手術プロクター（前立腺 腎 膀胱）

泌尿器科は8名の医師体制で、尿路悪性腫瘍から結石・感染症まで、幅広い泌尿器科疾患に対応しています。

前立腺がん、腎がん、腎盂・尿管がん、膀胱がん
 に対しては、腹腔鏡支援ロボット「ダ・ヴィンチ」を
 用いた低侵襲手術を積極的に実施しています。

特に膀胱がんでは、内視鏡で根治が困難な場合に膀胱全摘が必要となりますが、当院では可能な限り「自然排尿が可能な新膀胱再建術」を行い、ストマを作らず生活できるよう工夫しています。この手術を多数行っている施設は全国的にも限られており、当院は県内で最も多い実績を誇ります。

また、泌尿器科医の高度な技術を示す「腹腔鏡技術認定医」には、これまで18名が合格しており、質の高い手術を提供できる体制を整えています。薬物療法においても、免疫チェックポイント阻害薬や分子標的薬など、最新の治療を積極的に導入しています。

前立腺肥大症に対しては、出血が少なく身体への負担が軽減される電気蒸散術（TUVP）を中心に行っています。

尿路結石の治療では、体外衝撃波やレーザーによる経尿道的内視鏡手術を基本とし、大きな腎結石には経皮の手術を組み合わせた「ECIRS」を導入しています。ECIRSは高度な技術を要しますが、治療成績の向上につながっており、この分野では国内でも上位の実績を持ち、多数の論文を発表しています。

今後も地域の皆さまに、安心して質の高い泌尿器科医療を提供できるよう努めてまいります。

泌尿器科医師ご紹介



● 医長 大竹 慎二

専門領域
悪性腫瘍
資格

- 日本泌尿器科学会専門医
- 日本泌尿器科学会指導医
- 緩和ケア研修会終了

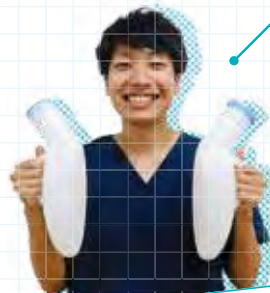


● 医長 柴田 洋佑

専門領域
悪性腫瘍・結石・排尿機能

資格

- 日本泌尿器科学会専門医
- 日本がん治療認定機構 がん治療認定医
- 日本泌尿器内視鏡ロボティクス学会 腹腔鏡技術認定医
- 日本泌尿器内視鏡ロボティクス学会 ロボット支援手術プロクター認定医



● 医員 衣里樹 部刈

専門領域
悪性腫瘍・結石・男性不妊
資格
●日本泌尿器科学会専門医
●アンドロロジー学会評議員



医員 岩本 源矢



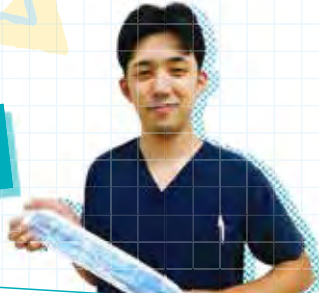
● 医員 岩佐 絵連



● 医長 臼井 公紹

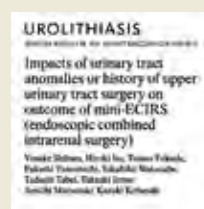
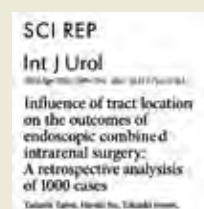
専門領域
悪性腫瘍・結石・排尿機能
資格

- 日本泌尿器科学会専門医
- 日本泌尿器科学会指導医
- 日本がん治療認定医機構 がん治療認定医
- 日本泌尿器内視鏡ロボティクス学会 腹腔鏡技術認定医
- 日本内視鏡外科学会 技術認定医（泌尿器腹腔鏡）
- 日本泌尿器内視鏡ロボティクス学会
- ロボット支援手術プロクター認定医（膀胱・前立腺 腎）
- 日本ロボット外科学会 Robo-Doc Pilot 国内 A 級



● 医員 小山 歡

多数の論文を発表しています



命を救うスペシャリスト 広がる活動の場 横須賀共済病院の救急救命士

平素よりお世話になっております。今年度より救急救命士が2名入職し4名体制となりました。土日祝日問わず日勤勤務しておりますので、地域医療機関の皆様にご紹介申し上げます。



救急救命士 山口 和輝

はじめまして。今年4月より横須賀共済病院に入職しました山口と申します。横須賀共済病院は日本でもトップレベルの医療機関であるため自分も当院に貢献したいと思い、入職しました。当院の救急救命士は電話応需、来院後の診療の補助、転院調整・転院搬送を行っており、近隣医療機関の皆様との円滑な連携が重要となります。迅速な受入を心がけ、情報の連続性を意識し、医療機関同士の「橋渡し」となれるよう努めていきたいと思ひます。まだまだ未熟な部分もありますが、何卒よろしくお願い申し上げます。



救急救命士 井上亮太郎

はじめまして。今年の4月から新入職員として勤務しております、救急救命士の井上亮太郎と申します。入職した理由としては、全国屈指の救急搬送件数を誇る当院で多くの患者さんと関わることで地域医療に貢献したかったからです。私たちは、救急搬送されてきた患者さんに対してアセスメントを実施し、必要に応じて転院調整・搬送を行うことでERの診療室調整をする役割を担っています。伝統ある横須賀共済病院の一員として「よかった。この病院で」と思っただけのよう、患者さん一人一人と真摯に向き合っていきます。

持参薬に係るアンケート

地域ぐるみのポリファーマシー対策

薬剤科 部長 小林 路子

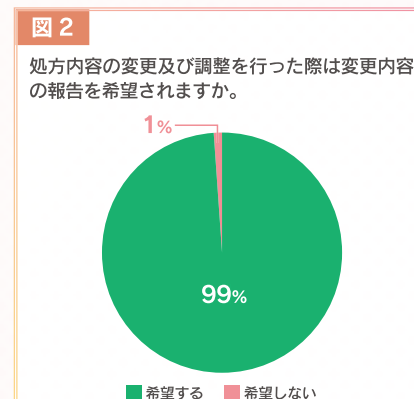
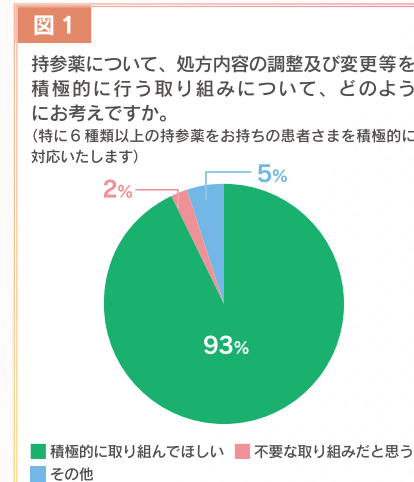
患者さんが入院された時、病棟において私たち薬剤師は、真っ先に患者さんのところへ行き、ご持参頂いたお薬をお預かりして、内容や普段の内服状況等を確認させて頂いています。

厚生労働省の調べによると、60歳を超えると7つ以上の薬を服用している割合が増えるとされていますが、多分に漏れず、患者さんがご持参になるお薬の種類は多く、病棟には大きなお薬の袋がいくつも置いてある印象です。最近では、ポリファーマシーという言葉も耳にするようになり、「使っている薬が6種類以上になると、副作用が起こりやすくなる¹⁾」との報告もあり、一旦、処方薬が全て集まる「入院」をきっかけに何か出来ることはないかと思ひました。

7月には、地域の先生方へ、持参薬に係るアンケートをお願いしたところFAX 61件、WEB 27件 合計 88件と、多数の先生方にご回答頂くことが出来ました。お忙しい中、丁寧に応じて下さり、心より感謝申し上げます。本アンケートにて、入院中にお薬の量や種類の調整を試みることにについて、ほとんどの先生方より「積極的に取り組んでほしい」と熱いメッセージを頂きました(図1)。中には「不要です」と仰られる先生もいらっしゃいましたが、既にポリファーマシーのリスクをご存知の上、入魂の処方をされているご様子であることがヒシヒシと伝わり、地域全体が一丸となって患者さんを思って真剣に処方していらっしゃる事が分かりました。また、変更が生じた場合の情報共有についても、ほとんどの先生が望んでいらっしゃる事実も分かりました(図2)。当院では管理者より、病診連携において、「地域の先生方への報告は必須」と指示されています。アンケートの回答にて、熱いエールを多数お送り頂いたことを原動力に、今後、密な情報のやり取りを効率よく行える仕組みを検討して参ります。現在、さくらネットを利用した薬剤に特化したご報告方法も検討中です(図3)。

今後、地域の先生方をはじめとした医療従事者の方々と一緒に患者さんの幸せのための取り組みを繰り広げていければ幸いです。アンケートの御礼に合わせて、今後のお願いにもなりますが、何卒よろしくお願い申し上げます。

1) Kojima T. Akishita M, et al. Geriatr Gerontol Int. 2012





当院のDX



たくさんの方々に視察にお越しいただいております

当院は、2018年8月、内閣府のSIP「AIホスピタルによる高度診断・治療システムの開発」に参画し一般病院では唯一のAIホスピタルとして企業と協働しシステムの開発、推進に取り組んでいます。
この取り組みについて、多くの地域から視察にお越しいただいております。



医療機関訪問



新規開業 2025年8月1日

ふくやま耳鼻咽喉科馬堀院

令和7年8月1日、小堀医院を承継させて頂きました院長の福山聡と申します。まずは、長年一人ひとり丁寧に診療なさっていた大事な医院を引き継がせて頂き小堀正先生には大変感謝しております。また、前職では池田町クリニックにて耳鼻咽喉科外来と在宅診療を行ってまいりましたが、横須賀共済病院様をはじめ多くの医療機関に支えて頂きました。この場をお借りして感謝申し上げます。当院は、小堀医院と池田町クリニックと新規のスタッフや医療機器がミックスした構成になっております。在宅診療の経験を活かして当院でも耳鼻科往診に対応いたします。アレルギー性鼻炎の舌下免疫療法、睡眠時無呼吸症候群の検査・治療、慢性上咽頭炎の治療なども引き続き行ってまいります。小堀医院のホスピタリティあふれる医療を守り育てつつ、知識とスキルのアップデートを怠らないように、不易流行の志で地域の皆様に安心していただけるような耳鼻咽喉科の医院を目指してまいります。どうぞ宜しくお願い申し上げます。



院長 福山 聡 先生



..... 地域医療連携における連携登録医制度

横須賀共済病院連携登録医

1. 「医療連携登録医証」を発行させていただきます。
2. 当院ホームページ「かかりつけ医検索」にて掲示し、かかりつけ医がない患者さんに、連携登録医療機関を紹介させていただきます。
3. 連携登録医療機関名を連携ボードに掲示させていただきます。
4. 当院が主催する臨床検討会、講演会、研修会等のご案内をいたします。
5. 当院の医学図書室の利用が可能です。(文献検索が行えます)
6. 当院の診療案内、広報誌など各情報提供関連を送付させていただきます。

連携登録医の
申請・変更 問合せ

横須賀共済病院 地域連携センター 地域連携室 連携登録医担当事務
TEL 046-827-1117 (直通)



退職医師 2025年9月30日付

- | | |
|--------------|-----------------|
| ■脳神経外科…譽田 絃起 | ■呼吸器外科…前瀨 涼太 |
| ■精神科…花井 葉月 | ■麻酔科…山口 恵、新宅 康弘 |
| ■血液内科…原田 夏與 | ■産婦人科…後藤 雄介 |
| ■形成外科…本田 洋一 | |

理 念

よかった。
この病院で

患者さん・家族・職員
すべての人が安心できる
病院をめざします

国家公務員共済組合連合会
横須賀共済病院

〒238-8558 神奈川県横須賀市米が浜通1-16

TEL 046-822-2710(代表) FAX 046-825-2103(代表)

地域連携センター地域連携室

TEL 046-827-1117(直通)
FAX 046-823-5020(直通)



編集後記

秋も深まり窓辺に差し込むやわらかな光に紅葉が映える季節となりました。

「読書の秋」という言葉のとおり新しい物語や知識との出会いは、日々の暮らしに彩りを添えてくれるものです。本を手にして過ごすひときは、リラックスできる方法の一つ。仕事や日常のストレスから解放され、ゆったりとした秋の時間を過ごしてみてください。

当院もまた、皆さまに安心を届けられる存在でありたいと考えております。

今後とも横須賀共済病院とれんけいだよりを
よろしくお願いします。

横須賀共済病院

LINE 公式アカウント

友だち募集中



@ykh_line

YKH れんけいだより Vol.87

発行日

2025年(令和7年)
11月25日

編集

地域連携センター
地域連携室